

会 議 名	第1回港区立赤坂区民センター指定管理候補者選考委員会	
開 催 日 時	令和5年2月7日（火）午前10時50分から午前11時20分まで	
開 催 場 所	リモート会議	
委 員	（出席者）白石委員長、中島副委員長、岩崎委員、黒田委員、沼倉委員 （欠席者）なし	
事 務 局	赤坂地区総合支所管理課長 重富、赤坂地区総合支所管理課 五十嵐	
会 議 次 第	1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 選考委員会の運営について 5 委員長選出 6 議題審議 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準（案）について 7 今後のスケジュールについて 8 閉会	
配 付 資 料	資料1 港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項【様式集】 資料5 業務基準書（案） 資料6 業務仕様書（案） 資料7 選考の進め方〔審査フロー図〕（案） 資料8 第一次審査表（案） 資料9 第二次審査表（案） 資料10 今後のスケジュール（案） 添付資料1 施設パンフレット 添付資料2 港区立区民センター条例 添付資料3 港区立区民センター条例施行規則	
会議の結果及び主要な発言		
（発言者） 事務局	1 開会・挨拶 （赤坂地区総合支所長挨拶）	

	2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 選考委員会の運営について (事務局より資料1について説明) 5 委員長選出 互選により白石委員を選出 港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱の第5条3項の規定により、副委員長は赤坂地区総合支所長を選出 6 議題審議 議題1 公募要項(案)について (事務局より資料3について説明) 委員長 C委員 事務局 C委員 B委員 A委員 事務局 質問、意見等ありますか。 赤坂コミュニティーぷらざの休館について、詳細が分からないと、経費の見積等含めて、適正な提案が出来ないのではないのでしょうか。 現時点では、赤坂コミュニティーぷらざ大規模改修工事の基本設計を行っている段階であるため、赤坂区民センターを完全休館とするのか、部分休館とするのか、また休館中における施設の対応を提示できる時期ではありません。詳細を提示できる時期が来ましたら、別途指定管理者と協議する予定です。 区で休館期間中の補償を約束してもらえるのであればよいですが、現段階ではそれも出来ないのであれば、難しいと思いましたが、他の委員はいかがでしょうか。 休館について、事業者から多くの質疑があるのではないかと思います。令和6年8月から令和9年11月までが大規模改修工事期間で、令和8年3月から令和8年12月までが休館期間ということは、休館期間の前後の期間については工事しながら、赤坂区民センターを運営すると読めますが、その運営範囲が分からないと、応募事業者は困ると思います。何らかの答えを用意しておく必要があると思います。 事前説明会でもある程度のところまで説明できないのでしょうか。 休館期間の前後の期間については、フルオープンで考えています。ただし赤坂コミュニティーぷらざ自体は工事を実施しているため、振動や騒音が発生します。そのあたりを考慮しながらの運営になろうかと思います。現段階でご説明できるのは、赤坂区民センターの休館期間と、休館期間中において一部開館の可能性を探っていることにとどまります。 新型コロナウイルス感染症対応による休館の際もそうでしたが、区側が原因による休館については、事業者に不利益が生じないように対応してまいりましたので、工事における休館についても、事業者の不利益が生じないように対応するという姿勢については、しっかりと説明会や質問に対する回答で伝えていきたいと思っています。
--	---

B委員	「前後の期間についてフルオープン」ということは、工事をしながら赤坂区民センターを使い続けるということでしょうか？
事務局	そのとおりです。赤坂コミュニティーぷらざ全体としては、外壁改修や内装・設備工事等が予定されています。赤坂区民センターに係る工事期間中は休館が必要ですが、それ以外の期間については、基本的に業務を継続します。
B委員	わかりました。
A委員	区と指定管理者の管理責任の分担を示した表の中で、本件はどの項目に該当するのでしょうか。
事務局	直接該当する項目は無いため、定めのない事項については区と指定管理者における「その他協議事項」となりますが、区の事由による指定管理業務の変更及び経費の変動の責任は区が負うことについての根拠は、管理責任の分担表における項番7「指定管理業務の変更及び経費の変動」を準用する形になろうかと思います。
B委員	例えば工事の概要について記載するなど、各者共通の明確な指標を提示しないと、見積額等に振り幅が生じるのではないのでしょうか。
事務局	収支計画の出し方については応募者に差異が生じないよう、前提条件が明確になるよう要項を修正します。
委員長	事業者側に負担をかけない記載となるよう、修正をお願いします。
C委員	<u>資料3の15ページに（3）公募の日程があり、予め、応募を予定する団体は対応できるかもしれませんが、公募要項発表から説明会までのスケジュールが短いように感じるので、次回の公募時は、若干日程に余裕を持っていたらと思います。</u>
事務局	<u>次回の公募の際に検討させていただければと思います。</u>
A委員	<u>資料3の22ページ②「SDGs～」について、SDGsの中で、年齢に特化しているように見えます。年配者が積極的に利用してもらいたい気持ちも分かりますが、港区は外国人が多いため、外国人を考慮する表現も工夫できれば良いと思いました。</u>
事務局	<u>高輪区民センターの第三者評価で、若年層の利用が少ない指摘があったため、項目を作成する際に年齢を記載した経緯があります。外国人も含めて特段限定をせずに「あらゆる人」がより利用してもらえの方が重要なため、「年齢」を削除する方向で検討します。</u>
A委員	<u>C委員に質問です。資料3の14ページ1（1）申請者の資格 カ申請者が該当してはいけないことの項目にある（ウ）破産法に基づく破産手続き開始の申立てをしている者、（エ）会社更生法に基づく更生手続き開始の申立てをしている者は、債務者を想定していると思いますが、債務者が債権者に申立てられた場合はどうなりますか。</u>
C委員	<u>この文言からは、申立てられた債務者は欠格事由には該当しないと考えられます。</u>
委員長	<u>申立てられている場合は欠格事由に該当しないのか、公募要項にある記載が正しいのか事務局で確認をお願いします。</u>
事務局	<u>区民センターに限った記載ではないため、改めて全庁的に適正な言葉か、従来通りかを確認します。</u>
委員長	その他、ご意見がなければ、公募要項を決定いたしますが、よろしいでしょ

委員長	うか。 (委員一同・異議なし) 本日の審議での皆様のご意見をもとに、公募要項を修正します。最終的な文言の調整については、委員長・副委員長に一任ということで進めさせていただきます。 (委員一同・異議なし)
委員長 C委員	議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について (事務局より資料7、資料8、資料9について説明) 質問、意見等ありますか。 <u>資料8の審査項目「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」に配点がありませんが、この配点分は「4 資金計画」に吸収されますか。また「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」の配点が「5 管理運営計画」に比べて若干低い印象を受けます。</u>
事務局	<u>「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」は次回の委員会で公認会計士に依頼をして、公認会計士が評価をします。公認会計士が評価の財務状況分析の評価は、通常であれば「可」が大前提となります。また、「4 資金計画」については、全体の配点の10%と配分が決まっております。</u>
A委員 事務局	<u>財務状況分析が「不可」の時点で選考はできないことでよろしいですね。その通りです。</u>
B委員	<u>第一次審査と第二次審査の比率が2対1は、第一次審査(210点)と第二次審査(100点)の比率の意味ですか。</u>
事務局 委員長	<u>その通りです。</u> その他、ご意見がなければ、第一次・第二次審査表を決定いたしますが、よろしいでしょうか。
委員長	(委員一同・異議なし) 本日の審議での皆様のご意見をもとに、第一次・第二次審査表を修正します。最終的な文言の調整については、委員長・副委員長に一任ということで進めさせていただきます。 (委員一同・異議なし) 7 今後のスケジュールについて (事務局より資料10について説明) 8 閉会 (閉会の挨拶)

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。

※下線は、芝浦港南区民センター等指定管理者候補者選考委員会での発言を、各地区共通事項にかかる発言として再掲しています。

会 議 名	第2回港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月15日(木曜日)午後6時45分から午後7時20分まで
開 催 場 所	リモート会議
委 員	(出席者) 白石委員長、岩崎委員、黒田委員、櫻庭委員 (欠席者) 新宮副委員長
事 務 局	赤坂地区総合支所管理課長 重富、管理係長 鈴木、管理係 池内
公 認 会 計 士	Census Consulting 株式会社 平山 友暁
会 議 次 第	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告について 3 議題審議 (1) 第一次審査通過事業者の決定について (2) 第二次審査(プレゼンテーション)の方法について 4 今後のスケジュールについて 5 閉会
配 布 資 料	(配布資料) 資料1 港区立赤坂センター 財務状況等分析報告書 資料2 港区立赤坂センター 資金計画分析報告書 資料3 港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会 第一次審査得点集計表・コメント一覧 資料4 港区立赤坂区民センター指定管理者候補者第二次審査 選考基準・採点表 資料5 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の方法について 資料6 第二次審査実施に関する留意事項(案) 資料7 第1回港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考 委員会会議録 (その他) 応募事業者申請書類・計画書類
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 (委員長挨拶)
公認会計士	2 財務状況等分析結果の報告について 【財務状況(総合評価)】 A事業者「可」 【資金計画(総合評価)】 A事業者「A」 以上を報告。
委員長	財務状況等の分析結果について何か質問はございますか。
白石委員	A事業者の本部経費には、200万円と計上されており、具体的な説明はありませんでしたが、一般的に本部経費には何を計上するべきなのでしょうか。

公認会計士	本部経費には、一般的に、事業者の本社などが一括して処理する業務の当該施設分の人件費等を計上します。確かに、A事業者の経費見積には、本部経費に200万円とされていましたが、具体的な算定根拠の記載がありません。その点は、審査の上で減点いたしました。しかし、全体の金額のバランスや過去の事例等から考えても、詳細な説明が記載されてないだけで、不合理な金額ではないと考えております。本部経費の積算根拠は、ヒアリングをするのが良いと思います。
白石委員	公租公課には、何が計上されているのでしょうか。
公認会計士	消費税に相当する額が計上されています。
委員長	その他、財務状況分析結果、資金計画分析結果について、何か質問はございますか。
全委員	なし
事務局	3 議題審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について （事務局が第一次審査通過事業者の決定までの流れについて説明） 事業者Aは、1,050満点中769点です。
委員長	まず採点結果について評価したポイント等を各委員の皆様からご講評をいただきたいと思います。
岩崎委員	全体的なポイントは捉えているものの、様式26から様式31にかけてのイベントに関する記載について、実施時期や頻度、対象者等に関する記載をもっと具体的にしてほしいと感じました。 一方で、様式32のデジタル化については、デジタル活用が苦手な利用者に対する対応が具体的に記載されており、その点は配慮がある提案だったと思います。
黒田委員	全体的に具体性に乏しい記載であると感じた部分は、低めに評価しました。一方で、地域等の特性については、地域の特性を生かし、実現可能な提案がされていると感じ、高く評価しました。
櫻庭委員	類似事業として、同種の施設を多数管理運営しており連携が期待できること、施設長候補者は、同種の施設の管理運営を3年以上経験していて、民間企業でも労務経験があるところは期待ができると感じました。高齢者や障害者等の雇用促進に関して、障害者雇用率が未達成であるため、第二次審査で改めてヒアリングしたいと感じました。

委員長	新宮委員は欠席のため、予めお預かりいたしました講評を代読します。事業者Aについて、優れていると評価した点は主に5つございます。 1点目は、類似施設における管理の実績です。区と同種の施設を多数請け負っており実績は十分であると思います。 2点目は、苦情解決及びサービス評価の取組、顧客満足度への具体的な取組についてです。様々な手段で区民ニーズをくみ取り、事業展開に生かす仕組みができていたと思います。 3点目は、個人情報保護に関する点です。個人情報保護の取扱いの重要性をよく理解し、管理体制など必要な対策をとっていると思いました。 4点目は、地域コミュニティとしての拠点としての考えです。地域の一員としての考え方がしっかりとしており、清掃活動への参加や消防署との連携による事業など具体的な取組みもしっかりしていると思います。 5点目は、区との連携についてです。積極的に総合支所や地域と関わろうとする意欲が感じられました。 一方で、もう少し工夫が必要だと感じた点が1点ございます。 大規模改修で行われる建物のZEB化などを踏まえた、環境配慮に関する点です。必要な対策は取っていますが、職員が遵守するための具体的な方策を記述してほしかったと思います。 全体として、区民や地域団体、関係団体との関係性を重視していること。また、幅広い世代や国籍を持った人を対象にした事業が検討されていることなどを評価しました。
白石委員	基本的にはポイントを捉えた記載になっていると感じました。一方で、他の委員と同様、具体性に乏しい部分については、低めに評価しました。特に、危機管理や緊急対応に関する部分については、そのように感じました。 類似施設の管理運営実績や施設長候補者のこれまでの実績は評価できるポイントだと感じます。
委員長	各委員からの講評を踏まえて、審査にあたっての意見交換を始めます。評価が分かれている部分について意見交換をしたいと思います。 まず、様式8の労働環境に関する基準についてです
白石委員	シフトが変わらないのに、前年よりも労働環境を改善すると記載がありますが、それは矛盾しているのではないかと思います、2をつけました。
黒田委員	シフトに余裕があり、様々なことに対応しやすいのかなと思います5をつけました。
委員長	様式17の個人情報保護に関する取組について、お願いします。
岩崎委員	個人情報保護の取組について、具体性に乏しかったので、2をつけまし

	た。
櫻庭委員	区が規定するマニュアルを遵守することなので、4をつけました。
委員長	様式18の大規模改修で行われる建物のZEB化を踏まえた、環境に配慮した施設運営のための取組について、お願いします。
岩崎委員	環境に配慮した施設運営について、利用者のごみの持ち帰りによる啓蒙以外は、新たな提案がなかったので、2をつけました。
櫻庭委員	実現可能な範囲で提案がなされていると感じ、4をつけました。
黒田委員	私も実現可能な範囲で提案がなされていると感じ、4をつけました。
委員長	様式34の高齢者、障害者の雇用や区内中小企業の活用に関する考え方について、お願いします。
岩崎委員	高齢者及び障害者雇用について具体性に乏しかったので、2をつけました。
委員長	ご講評ありがとうございました。 委員の皆様で採点を変更される方はいらっしゃいますでしょうか。
全委員	なし
委員長	それでは、事業者Aの審査得点は第一次審査得点集計表記載の点数769点で確定してよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
委員長	それでは、第一次審査の結果を踏まえ、事業者Aを第二次審査に進めたいと思います。よろしいでしょうか。
全委員	異議なし
委員長	それでは、事業者Aを第一次審査通過者として決定します。
事務局	議題2 第二次審査について（プレゼンテーションについて） （事務局から第二次審査のプレゼンテーションの方法について説明）
委員長	それでは、「議題2 第二次審査について（プレゼンテーションについて）」審議いたします。資料6「第二次審査の実施に関する留意事項

	(案)」についてご意見はございますか。
白石委員	私から提案させていただきます。先ほどの講評の際にも話がありましたが、提案されているイベントの実施時期や頻度、対象者などを確認するため、イベントの事業計画や年間スケジュールがわかる資料を追加で求めたいと思います。
黒田委員	膨大な提案資料を見ながらプレゼンテーションを聞くと該当箇所を探しているうちに進んでしまうので、提案資料の概要版資料1枚(A3判1面)の提出を求めたいと思います。また、概要版資料も地域や区民センターの特性を踏まえたものにしていただきたいです。
委員長	先ほどの、公認会計士から意見を踏まえ、資金収支計画の内容を確認することを前提に、回答できる方にプレゼンテーションに出席していただくようにしたいと考えています。
委員長	その他に何かありますか。
全委員	なし
委員長	それでは、追加資料として①イベントの事業計画や年間のスケジュールがわかる資料1枚(A3判1面)、②地域や区民センターの特性等を踏まえた概要版資料1枚(A3判1面)の提出を求めると同時に、プレゼンテーションには、資金収支計画の質問に答えられる方の出席を指示したいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。
全委員	異議なし
事務局	4 今後のスケジュールについて (事務局から、今後のスケジュールについて説明)
委員長	5 閉会 以上で、第2回港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会を終了します。

会 議 名	第3回港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年7月4日(火曜日) 午前11時00分から11時50分まで
開 催 場 所	高輪地区総合支所4階会議室
委 員	(出席者) 白石委員長、新宮副委員長、岩崎委員、黒田委員、櫻庭委員 (欠席者) なし
事 務 局	赤坂地区総合支所管理課長 重富、管理係長 鈴木、管理係 池内
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について 議題2 事業候補者の選定について 3 閉会
配 布 資 料	(配布資料) 資料1 第2回港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会議事録(案) 資料2 港区立赤坂区民センター指定管理者候補者第二次審査選考基準・採点表 資料3 第一次審査・第二次審査得点集計表 (その他) 応募事業者申請書類・計画書類
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 (委員長挨拶)
委員長	2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について それでは、事業者Aによるプレゼンテーションを行います。 (事業者Aプレゼンテーション) (事業者Aプレゼンテーション終了後、質疑応答)
岩崎委員	1点目は、赤坂区民センターのホールについてです。音響、照明設備等の操作は職員が行うようですが、職員にどのような研修を行っているのか、教えてください。また、利用者の中には、プロのような高いクオリティを求める方がいらっしゃいますが、そのような方に対しては、どのように対応しているのか、教えてください。 2点目は、赤坂図書館と連携して乳幼児室に「なかよし文庫」を常設し、図書を毎月更新しているとありますが、この図書は、どなたが選んでいるのか、教えてください。
事業者A	1点目についてです。毎年4月に5日間の期間を設けて、専門業者にホールの音響や照明等に関する研修をしてもらっています。その研修は、基本的な操作ができるように職員全員が研修を受けるようにしています。また、ホールを利用する方には「ホール利用計画書」を記載いただきます。そこには、舞台の仕込み図や音響・照明設備等の仕様を記

黒田委員	載いただきます。その情報を元に、舞台音響照明業者にオペレーションとして発注する場合がございます。 2点目についてです。図書を選んでいるのは、赤坂区民センターの乳幼児室担当者です。毎月、赤坂図書館の書籍担当者の方と相談し、テーマを決めて、図書を選んでいます。 1点目です。環境に配慮した取組について、具体的に何を行うのか、教えてください。 2点目です。参加者の増加に向けた取組について、地域商店会とのハロウィンイベントを提案されていましたが、その他に、参加者の増加に向けての取組があれば教えてください。 3点目です。現在も赤坂区民センターの施設長をされていますが、現在の一歩の課題を教えてください。 4点目です。障害者雇用率について、法定雇用率が未達成ですが、今後達成する見込みがあるのか、教えてください。
事業者A	1点目についてです。事業者本部でISO14001の取得をしています。区民センターの職員の取組としては、MINATO節電アクションに基づき、裏紙を利用するとか、節電のために蛍光灯を一つ置きにする他、ごみの分別などを厳格に行っています。また、利用者の方に対しては、区民センターの13室の部屋がありますが、各部屋にはあえてごみ箱を設置せず、ごみは利用者の方に持ち帰ってもらうことで、ごみを減らす努力をしています。 2点目についてです。赤坂は人口が3万8千人ほどいるのですが、その人口構成をみると子育て世代の方が多いです。しかし、子育て世代の方々が楽しむ場が少ないと感じます。また、アンケートの結果でも、そのようなことが言われております。そこで、子育て世代の方々が楽しめるイベントを行って、参加者の増加を目指していきたいと考えています。例えば、「0才からのファミリーコンサート」は、音楽大学の学生に演奏いただく事業ですが、こちらは、ベビーカーでもご参加いただけますし、お子さんが泣き出しても、走り回っても、問題なく参加していただける事業になっています。その他にも、「創作ワークショップ」は、子ども向けの事業で、夏休みの工作としてイタリア人の方を講師としてお招きし、ステンドグラスを作っていただくものになっています。また、子育て世代を対象にした「親子講座」では、「英語でリトミック」という事業を開催します。これは、小さなお子さんに英語とピアノで楽しんでもらうという事業になっています。これらのイベントを行い、参加者の増加を目指していきます。 3点目についてです。利用者アンケートや利用者懇談会でいただく意見として、お手洗いが和式のところを改善してほしいというものがあります。こちらについては、施設を管理する総合支所に要望し、今後行われる大規模改修工事で改善される予定です。また、子育て世代の方々が遊ぶ場所が少ないというのも課題としてありますので、子育て

櫻庭委員	世代向けのイベントを増やしていきたいと考えています。 4点目についてです。当法人が雇用すべき障害者数は2名であり、これまで法定雇用率を達成していましたが、令和5年3月末で1名退職したことから、令和5年4月1日時点では、法定雇用率が未達成という状況です。就労者支援機構やハローワークを通じて、2名の方に職場体験をしていただき、そのうち1名から働きたいという意思をいただいたことから、現在7月中の採用に向けた準備を進めております。これにより、法定雇用率を達成する見込みです。 1点目です。職員の人材育成について、「長く働き続けることができる職場づくり」と記載がありますが、具体的な取組や研修について教えてください。 2点目です。本部のバックアップ体制について、教えてください。 3点目です。利用料金制を採用していない施設ですが、自主事業を実施する意義、その動機やインセンティブなど、そういったものをどうお考えなのか、教えてください。 4点目です。様式10に経費削減の具体的な取組の一つとして参加者の収入増を図るとあります。資金計画書上は年々微増させていますが、具体的な手法や実現可能性について、教えてください。
事業者A	1点目についてです。まず、年度当初に職員に対し、公の施設を管理するにあたっての心構えや区民の方に対し平等にサービスを提供することなどについて教育を行います。また、接遇やコンプライアンス、情報セキュリティなど年に数回テーマを設定し、専門の方を講師として呼びし、講習を行っています。オンラインの研修を導入しており、職員の都合の良い時間に研修を受けられるような体制を整えています。オンラインで研修をする際は、その履歴を本部の担当者が確認し、全員が受講する仕組みを整えています。人材育成に関しては、OJTとOff-JTの二本立てで人材育成を行っています。 2点目についてです。私たちの法人は、現在、4つの区民センターを受託しております。複数の施設を受託することで、成功事例を他の施設へ広めることができ、トラブルが発生した際は、その事例と解決方法を他施設へ共有することで、他施設のサービス向上に寄与できます。また、人的バックアップとして本部の施設管理担当3名のほか、企画経営部の職員が施設の受付対応ができるよう教育をしています。 3点目についてです。自主事業は、施設利用者の妨げにならない範囲を前提に私どもの財源で実施します。自主事業を実施してみて参加者からの評判が良ければ、次年度以降、指定管理の提案事業として実施するというご提案も考えています。 4点目についてです。まず一つは、昨年度の参加者を基準に、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した参加者を戻していく、多くの方に参加していただける事業を展開していくということで、利用者負担金としての参加料収入は、各年度で傾斜をかけました。併せて、受益者

新宮委員	負担の考え方にに基づき、適正な値段で参加いただけるよう、料金設定に見合った質の高いサービスを提供するということを基本に、都度見直ししながらサービスを提供させていただきます。今後、事業自体の魅力向上と周知の強化を図りつつ、5か年の収支計画で収入を増加させ、毎年見直しをかけながら実施できればと考えております。 1点目です。管理運営体制のところ、様式13に「施設長、副施設長、事業担当者の3名を常勤とする」とある一方で、様式13-2では、常勤が4名となっています。さらに、様式13には「責任者が不在とならないように職員を配置する」と記載がある一方で、様式13-3では、責任者が夜間不在に見えてしまいます。これについて、補足説明をお願いします。 2点目です。職員配置について、現在の職員数は9名で、今回の提案も9名と変わらないですが、今回、新たな提案でシルバー人材センターの方を1名追加されていますが、理由と必要性について、教えてください。 3点目です。その他経費の本部経費で事務管理費として200万円計上されており、この経費の内訳を教えてください。 4点目です。職員全体の処遇改善も進めているようですが、その目的について、教えてください。
事業者A	1点目についてです。常勤は、様式13-2のとおり4名配置し、うち3名をシフトの中心に組み込むという意味で様式13の文章を表現しました。様式13-3は、縦に見ていただき、例えば、「この時間帯は5名を配置します。」、「この時間帯は2名を配置します。」というように見ていただければと思います。曜日ごとや、1か月単位のローテーション表を提出できればよかったのですが、様式に指定がありましたので、このようなローテーション表で示させていただきました。 2点目についてです。夜間は職員を2人体制とし、そのほかに1人をシルバー人材センターの方をお願いする予定です。夜間を職員2～3人体制にすることで、不測の事態が発生した際も対応できる体制を整えるため提案しました。 3点目についてです。本部人件費として計上している経費で、本部に設置している施設運営担当の常勤3名分の経費です。施設運営担当の主な仕事としては、採用に関する事務、職員の人材育成に関する事務、委託業者との契約等に関する事務、業務報告書等の作成事務等です。 4点目についてです。既存の職員の処遇を改善することにより、職員のモチベーションを維持してより良い区民サービスを提供することに加え、人事採用の際には、多くの方が面接に来ていただきますが、最終の段階で条件が合わずにご辞退される方が多いことから、新たに就職してくださる職員の方にも、きちんとした条件を示していけるよう、法人として定期昇給などの処遇改善を進めています。

白石委員	1 点目です。赤坂区民センターの施設長を3年間勤めていらっしゃいますが、施設長自身の改善点を教えていただけますか。 2 点目です。4月に危機管理基本マニュアルが改定されたという記載がありましたが、何が変わりましたか。
事業者A	1 点目についてです。もともと製造業で長年、工場で働いておりましたので、モノを作るという点では、自信をもってやってきましたが、人と接する仕事はこれまであまり経験をしてきませんでした。そのため、私自身が直接窓口に出て、お客様の声を聞いて、できる限り改善していこうという思いをもって行動する姿勢を示すことを常に意識しています。お客様からいただいた意見を職員と共有し、本部とも共有し、区とも共有することでより良いサービスを提供できるようにしていきます。また、常日頃から職員との意見交換を活発に行い、職員からの意見を積極的に聞き、事業運営に反映させていしていきます。 2 点目についてです。本年4月に危機管理基本マニュアルを改定し、危機発生時の緊急報告をより迅速にシステムチックにできるよう整理するとともに、未然防止のための定期確認の実施時期や手順などをマニュアルに落とし込みました。このマニュアルに基づき、エレベーターの不具合や、情報安全対策、個人情報漏えいなど、様々な危機に対して、的確に対応してまいります。また、区民避難所開設などの災害対策について、指定管理者は、区の対処方針に従うことが基本であると考えております。災害対策に関しては、発生時に即時に区と連絡を取って、区の指示に従いながら適切に対処できるよう危機管理マニュアルとは別に整理し、災害対策基本マニュアルとして決めました。施設を預かる者として、利用者の安全安心が一番大事だと考えていますので、きちんと対応できるよう日頃の訓練や研修も定期的の実施する予定です。 (事業者Aのプレゼンテーション終了・退席)
委員長	委員の皆様は採点表に記入をお願いします。事務局は集計をお願いします。
委員長	2 議題審議 議題2 事業候補者の選定について それでは、事務局から集計結果の発表をお願いします。
事務局	お配りした資料4 第一次審査・第二次審査得点集計表をご覧ください。 第二次審査の事業者Aの総合計得点は、 500点満点中368点、得点割合は73.6%です。 第一次、第二次審査合わせまして1550点が満点となります。事業者Aの合計得点は1,137点、得点割合は73.4%です。 事務局からは、以上です。

委員長	それでは、この集計結果を踏まえて各委員の皆さんからご講評をお願いいたしまして、内容を審議いたします。
岩崎委員	赤坂図書館との連携した事業などに関して、具体的な受け答えができていましたし、施設長候補者の方が既に施設のディテールまで把握されていると感じました。また、人材育成に関しては、ホールの使い方などの研修をされているということやオンラインで研修を受講できる環境を整えているところなども評価できる場所だと感じました。施設長候補者については、これまでの経験を生かしてより良いサービスを提供していけるだろうと感じました。
黒田委員	法人全体で他の区民センターも受託することで、スケールメリットが期待できると感じました。また、地域の拠点としての施設であるということをしっかり理解されていると感じました。提案事業については、若干、ホールの利用に偏っているように感じましたが、年齢層などを分析した事業提案がされており、地域の特性や施設の特性に応じた事業を実施していただけたらと感じました。施設長候補者については、継続性の下で、安定した施設運営を行ってくれると感じました。
櫻庭委員	施設の運営管理実績が多数あるため、安定した施設運営を期待できると感じました。本部のバックアップ体制も充実しています。一方で、事業提案に関しては、若干、目新しさが足りないという点を感じました。施設長候補者は、3年間の経験があり、安定感を感じました。また、本部の人材育成や人材確保の体制がしっかりと構築されているところが評価できました。
新宮委員	施設長候補者の方が、非常に丁寧に受け答えができており、誠実さややる気を感じました。管理運営についても、施設長候補者自身が前面に立って行動するとおっしゃっていましたし、施設の管理運営実績が豊富である点も評価できます。また、夜間対応の充実など、書面から読み取れなかった職員の配置やシフトの考え方も確認できました。いかに区民のニーズを把握し、それを事業に反映させるのかが大切だと思いますが、これまでの経験や関係性を生かして、地域住民や関係団体と積極的に関わっていけると感じました。
白石委員	危機管理については、危機を想定した具体的な対応方法が示されたマニュアルの策定や、施設長候補者自身が自主避難所の開設を経験していることなどを踏まえ、十分対応していけるのではないかと感じました。また、地域住民や関係団体とどのように連携していくのかについて、子育て世代に向けた事業で、地域商店会と連携していくという話がでましたし、プレゼンテーションの中では、近隣の大使館等と連携して行うイベントの話をされていました。区民センターを地域の拠点として捉え、地域住民や関係団体と連携していこうという姿勢を感じるこ

	とができました。施設長候補者の受け答えからは誠実さが伝わってきました。
委員長	皆様からの講評を聞いて、点数の変更をされたい方はいらっしゃいますか。
全委員	(なし)
委員長	それでは、事業者Aは、1550点満点中1137点、得点率73.4%ということで確定し、港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会として当該事業者を指定管理者候補者として選考したいと思いますが、よろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	異議なしものと認め、事業者Aを指定管理者候補者として選考いたします。
	3 閉会